

**テーマ**  
すべての子どもを包み込む学びの環境とは

**インスピレーション⑦**

① 障がいのある人もない人も生きやすい社会とは  
↳ 特別支援学級・学校の児童・生徒の数  
↳ インクルーシブな社会になっているか？  
〈サポート・環境・共に学ぶ場〉

② 教科を中学校から選択  
→ 行事の参加を任意に  
→ トイレの改修  
★ 夏休み・冬休み期間  
★ 学校図書  
★ 直接意見を言える場

自分選べる  
若槻養護学校  
松本ろう学校

- エレベーター・階段昇降機
- 教室の大きさ
- 色々な学校に情報保障
- 交流のためのディスプレイ

③ 友だち・仲間  
→ 卒業後の休みの日に友だちと会える場  
→ 社会参加・卒業後の先輩の様子  
→ ボランティア参加を促したか  
→ 地域との交流

飯田養護学校  
伊那養護学校

卒業後の休みの日に友だちと会える場  
自分に合った仕事・選択肢が増えてほしい  
優先順位を  
実行具体化へ

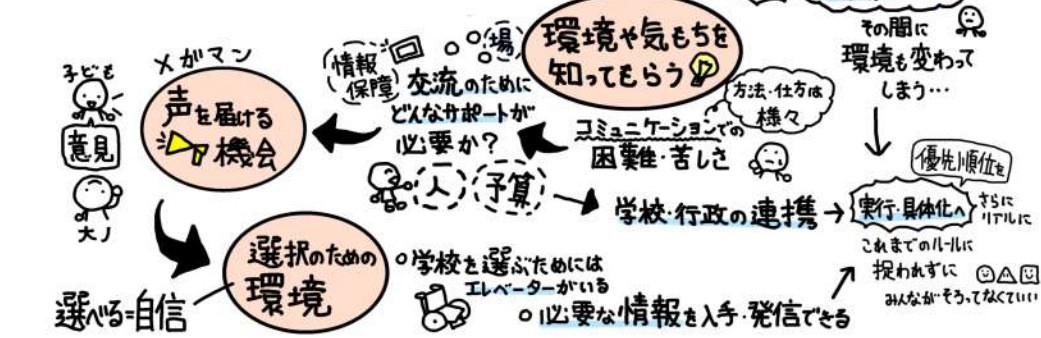
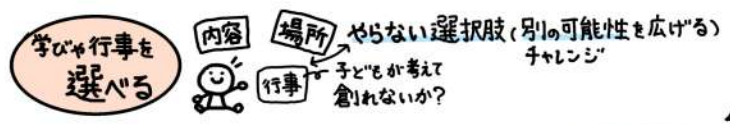
**出席委員**

出席オブザーバー

飯田養護学校長 浦野 憲一郎  
信州大学教職支援センター准教授 荒井 英治郎  
上田市立第五中学校長 畠山 正幸  
松本市立波田小学校長 三輪 千子  
長野県知事 阿部 守一

(願い) (モヤモヤ)  
**理想と壁を描くワーク①**

在学中の理想の環境とは何か？  
もっと〇〇にしたいこと



(願い) (モヤモヤ)  
**理想と壁を描くワーク②**

卒業後の理想の環境とは何か？  
もっと〇〇にしたいこと



**まとめ**

- 企業・地域の方と特別支援学校の子どもの交流機会を多くすることで、お互いの理解・子どもの自信につながる。
- 大人の視点だけでなく、子どもたちの視点を取り入れて一緒に考えることが重要。
- 子どもたちが安心して「選択できる」ように地域や社会の受け入れる体制や環境づくりが必要。